

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	指令業務事業			会計	款	項	目	大	小	
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課					
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防救急無線設備	意図	消防救急無線設備の正常な稼働や維持管理を図るもの。
事業内容	指令業務を円滑に実施するために必要な消耗品及び無線設備の保守とこれに伴う消耗品を購入するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和39年4月1日常備消防を発足し、業務を開始。</li> <li>・平成25年4月千葉北西部消防指令センターの運用開始に伴い、これまで設置されていた消防緊急指令設備を撤去した。</li> <li>・現在は、119番通報に至らない緊急性の低い事案について対応している。</li> </ul>			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	平成25年4月に消防防災課に「遠制流山消防」を配置し、119番通報に至らない緊急性の低い事案等の対応をしている。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		平成25年4月千葉北西部消防指令センターの運用開始に伴い、入電から指令までの統計がなくなったもの。			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,866,881	5,201,081	5,404,101				
事業費(b)(円)	434,381	502,681	612,201				
うち一般財源	434,381	502,681	612,201				
職員給与費(c)(円)	3,432,500	4,698,400	4,791,900				
人役・職員(人)	0.50	0.70	0.70				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	大規模災害時の同時多発する事案への対応力の向上に努める。	③取組における課題(Check)	部隊は限られており、有効で効果的な指令を行うには訓練の反復が重要である。
②H30に実施した取組(Do)	千葉北西部消防指令センターと共同し、大規模災害時の部隊運用訓練を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	大規模災害発生時の時々刻々と変化する状況への柔軟で的確な判断が養えるよう、繰り返し訓練を行う。